

不妊治療費等助成事業受診等証明書

下記の者については、先進医療技術となっている不妊治療を実施し、これに係る医療費を下記のとおり徴収したことを証明します。

年 月 日

医療機関の名称
及び所在地
主治医氏名

印

医療機関記入欄（主治医が記入すること）

（ふりがな） 受診者氏名	夫	（ ）	妻	（ ）
受診者生年月日		昭和 平成 年 月 日（ 歳）		昭和 平成 年 月 日（ 歳）
今回の治療方法 （注1）	<input type="checkbox"/> 子宮内膜刺激術（SEET法） <input type="checkbox"/> タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養 <input type="checkbox"/> 子宮内膜擦過術（子宮内膜スクラッチ） <input type="checkbox"/> ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術（PICSI） <input type="checkbox"/> 子宮内膜受容能検査1（ERA） <input type="checkbox"/> 子宮内細菌叢検査1（EMMA/ALICE） <input type="checkbox"/> 二段階胚移植術 <input type="checkbox"/> 子宮内細菌叢検査2（子宮内フローラ検査） <input type="checkbox"/> 子宮内膜受容能検査2（子宮内膜受容期検査）（ERpeak） <input type="checkbox"/> 強拡大顕微鏡を用いた形態学的精子選択術（IMSI） <input type="checkbox"/> 膜構造を用いた生理学的精子選択術（Zymot） <input type="checkbox"/> その他（ ）			
今回の治療期間 （注2）	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日			
領収金額	治療にかかった金額合計（※保険外診療に限る）			
	先進医療分	領収金額 _____ 円		

（注1）治療方法については、厚生労働省が先進医療技術として公表されているものであるため、増減することがあります。

（注2）治療期間については、治療計画を作成した日から妊娠確認日までを記載してください。